天一児

（別紙３）

# 公表　児童発達支援事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ○事業所名 | 児童デイサービスアップル | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2024年　10月　1日 | ～ | 2024年　12月　31日 | |
| ○保護者評価有効回答数 | （対象者数） | 0 | （回答者数） | 0 |
| ○従業者評価実施期間 | 2024年　10月　1日 | ～ | 2024年　12月　31日 | |
| ○従業者評価有効回答数 | （対象者数） | 11 | （回答者数） | 11 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年　1月　15日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 利用者様のご希望を積極的に取り入れている。 | やりたい活動や行きたいお出かけ先などのリクエストに可能な限りお応えしている。 | ご希望を取り入れつつ、ご本人にとって学びや糧になることを意識する。 |
| 2 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している。 | 毎回、一人一人の個別スケジュールを作成している。<br>サービス提供記録をさかのぼり同じような活動ばかりにならないように活動計画を立てるようにしている。 | 個々の性格や特性を考慮しプログラムを立案する。 |
| 3 | 保護者会を年に一度開催している。 | 保護者同士で情報交換、悩み、進路、気になることなどについて相談する場を設けている。<br>スタッフも意見を伝える。<br>全体の活動の様子、デイの雰囲気など普段お話しないことを共有できる。 | 普段話す機会が少ないスタッフとも顔を見て会話の機会を持つことでデイを利用することを安心してもらう。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 事業所で取り組んでいてもスタッフが取り組んでいることを知らないことがある。 | 社員とアルバイトスタッフで情報の差がある。 | 事業所での取り組みをスタッフに周知する。 |
| 2 | 建物がバリアフリーではない。 | 建物の構造上、段差をなくすことが難しい。 | サポートが必要な利用者様には適切に支援する。 |
| 3 | | | |